

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室主幹	<p>(観光・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検証シートに基づき説明
信太委員	<p>和牛祭りのイベントについて、問題点が特になしとなっているが、課題は、スタッフが高齢化していること、またスタッフが行政に依存しすぎているというのがある。スタッフに役場職員が多くなっている。地元の皆で組織する実行委員ではない状態が続いている。それが大きな課題だと感じている。</p>
佐藤部会長	<p>当農業士会も昔肉牛を飼っており、肉牛振興会というものを立ち上げて、肉牛祭りの走りのようなものを振興会と農協が一生懸命やっていたが、近年は畜産農家が減ってしまって、そのようなこともなくなってしまった。</p>
城委員	<p>観光は幅広いが、一番大事である。ここを真剣にやらないといけない。道の駅は、町に一カ所のみと決められているのか？</p>
小室主幹	<p>決められていない。足寄町には2つある。足寄湖とふるさと銀河線の駅舎跡にあるため、制約はない。</p> <p>商工会議所からも、第2の道の駅の建設を要望されている。場所を含めて検討している段階である。まだ具体的に作るとも作らないとも言えない状況だが、検討の時期に来ていると感じている。</p> <p>まちづくりの町民アンケートにおいても、町中に道の駅が欲しい旨の意見は多い。</p>
城委員	<p>美幌峠は国立公園の関係で規制が多いと聞いているが、道の駅の建物もその規制の枠に入っているのか。</p>
小室主幹	<p>入っている。道の駅を建てるときに、色合い、高さ、屋根の作りなどのほか、国立公園内ということで、民間の建物だけでは駄目だと規制を受けた。そのため、パブリックスペースとなる休憩室を設け、ゆっくりとでき、国立公園の利用客のニーズにも応える必要があると言われた。</p>
城委員	<p>道の駅の管理者に聞いたら、幟一つ設置するのも難しいとのこと。看板も設置できないので、目に訴えることができない。</p>
小室主幹	<p>そういった難しさや制約の厳しさは聞いている。</p>
城委員	<p>美幌は何においても外されると感じる。というのは、インターネットで「北海道観光」や「道東観光」で検索すると、ツアーやコースが出てきても、美幌は全部外されている。オホーツクツアーでも、網走や浜の方は出てくる。知床プランは知床のみ。阿寒・弟子屈プランでも、摩周湖や屈斜路湖で止まってしまう。</p> <p>地元が思うほど、美幌峠は名所ではないのではないかと。口コミランキングでも、美幌峠は100位以下となっている。我々が思う感覚と、世間の感覚はずれているのではないだろうか。</p> <p>このまま美幌峠で観光を引っ張っていくことを続けていいのか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室主幹	<p>今まで美幌峠一本で進めてきたことについては、商工会議所からおんぶにだっこではもう難しいと言われている。そのため、新たな魅力を発見して行かなくてはならないという話になっている。ところが、ではそれはどこですか、何ですかとなると、言葉に詰まってしまう。</p>
城委員	<p>「君の名は」で有名になったといっても、見た人は70歳過ぎの人が多い。インパクトは薄い。</p>
小室主幹	<p>年配者は見たいという人が多い。どれだけ人が集まるか不明だが、若い人は逆になんだらうと興味を持ってくれればと思う。また、興味を引きつけるために、石原軍団に話を持ちかけた経緯がある。誰か来ていただけないかと交渉したが、残念ながら不調に終わった。</p> <p>上映会は、石原さんが美幌に来たいということから始まったもので、それなら美幌の魅力を再認識してもらおうと、うまく乗った形として実現した。</p>
広島部長	<p>美幌は、観光産業が成り立っていない。苦戦しているのが現状。それをどうするかといった中で、観光という大きな題目において、ターゲットを誰にするか、その仕組み・施設をどう作るか、これが1年後の美幌町の観光を考えたとき、手を付けなければいけない部分である。</p> <p>美幌峠は70万人の観光客が来る場所であるので、観光の拠点であるのは間違いない。そこに何を結びつけることができるか、ということと、新たな戦略を立てどう情報発信していくか、といったプラン作りをきちんとやらないと、難しいところである。</p> <p>それには、投資が必要であり、アイデアも必要である。今回観光振興計画を立てるが、色々な人がアイデアを持って集まって、枠を取っ払って考えていただかないと、美幌の観光の方向性は見えてこない。</p> <p>昔の観光は、プランニングされたものに観光客は乗っかってきたが、これだけ情報化された社会では、自分の行きたい場所に自分で計画したプランで、自分が体験したいこと・ものを選択することができる。それを、レンタカーを借りて実行するというのを考えれば、何が大事かというところ、その選択の材料となる題材と情報発信である。ここに美幌は今まで手を付けてこなかった。美幌峠一本に甘んじてきた結果、他から遅れてしまったと思う。</p> <p>相当投資をしなければいけないと思うし、それを町民の方々が認めてくれるだろうか。今は通過型観光と言われているが、それも有りだという人もいる。しかし、美幌町に来た人にお金を落とすしていただかないと、観光ではないという人もいる。そうした方々の折り合いをどう付けて、税金をどこまで投入することが可能なのかといったことも、観光振興計画を策定する中で、きちんと議論していかないといけないところである。</p> <p>絵に描いた餅にならないように、現実的に見た中で、2つめの道の駅は必要なのか、どういった道の駅が必要なのかを考えたとき、中身が重要になってくる。中身に何をを入れるかを真剣に考えなければならない。</p>
城委員	<p>もう見てもらうだけの観光では駄目。たとえば美幌自体がグルメの町、ランチの町といったことを加えないと。</p>
信太委員	<p>観光産業に関連したものとして、生業としている旅館業、運輸業があるが、ツーリズムとして美幌に泊まってもらう商品を持つ業を持っている会</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>社が美幌にはない。隣の弟子屈町にはツーリズム弟子屈観光、阿寒では阿寒観光協会がある。</p> <p>皆さんはぼんやりと、観光は大事な産業だという意識はあるものの、一つ一つの会社にメリットがあるということを、町全体の意識で持ってもらわないと、道の駅を建てる、投資をする、お金をかけることにまで進まない。</p> <p>まず、皆さんで、観光でどう儲けるかというメリットを考えていかないと、経済効果に結びつかない。10年20年30年の長いスパンで考えて、それがまちづくりにつながるものであるし、美幌峠の歴史とか、なぜ町境にあるのに美幌峠と呼ばれるのか、それらを取り入れて、武器にして、バランス良く盛り上げていくことが大切。</p> <p>かつて「君の名は」で美幌峠の名は爆発的に売れたが、今は「みほろとうげ」と発音したり場所が分からない人が多い。全国的な知名度は落ちている。</p> <p>130万人来ていた観光客も70万人に落ちている。これは美幌峠という観光を磨いてこなかった結果である。売ろうとしなくても勝手に人が来ていたので、何もしてこなかった。このことについて今一度見直さないと、観光で儲けるというスタンスにならない。</p> <p>これは観光協会の仕事であると思っているが、苦戦している。ここ60年を掘り返してみても、同じことが書かれている。阿寒に行こうとする玄関口であるである美幌に、一泊させるコースを考えなさいと先人たちにも言われている。</p> <p>配っていただいた資料に、美幌の宿泊者数が出ているが、これはほとんど作業員である。スポーツの全国大会などで仕方なく美幌に泊まるというのはあるが、目的地が美幌で観光見に来る人はいないと思う。</p> <p>美幌の観光の問題点や問題意識、何をしたらいいのか、何があるのかといったことを、美幌に生まれ育った人が意識していかないと、着地型観光は難しい。</p>
城委員	美幌峠の入り込み客数で観光客はどれくらいなのか。
小室主幹	この数字は、美幌峠の道の駅に立ち寄った人の数です。そのため、トイレだけ立ち寄った人の数も入っている。
信太委員	<p>道東観光でどこに行くかとなったとき、美幌は網の目のようになっており、根室や稚内のようにそこを目的として行かないと行けない土地ではないため、必ずといっていいほど通過することになる。</p> <p>しかし、観光は目的を持ってそこに行くことを観光という。美幌の武器は、その観光に向かうときに、通過するという点だ。美幌を通ったことがない人はいないというくらいの要衝なので、それを武器にして売りに出していければと思う。</p>
城委員	通過も結構だが、いかに一時停止してもらうか。
信太委員	美幌はラビリンス状になっているので、迷う人もそれなりにいる。国道一本であればスーと通り過ぎてしまうが、いくつもあるので、それでぐるぐる回ってしまうのだろう。バイパスが完成すれば、また変わるのかもしれないが。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
阿閉委員	そこに道の駅があつて、大きな駐車場があれば止まる。
城委員	確かに、自分は煙草を吸うので、煙草を吸う人は道の駅に止まる。
信太委員	<p>また、これは自分の子どもを見て感じたことだが、朝の雲海や夕焼けがきれいだから見に行こうと誘っても、腰が重い。遠足などの学習において、地元の誇るべき観光地だということを取り入れて欲しいと思う。地元のキラッと光るものを持てば、美幌で就職したり、外に出ても美幌は良かったなと思ってもらえる。美幌峠の景観は世界に誇るものだと思っている。</p> <p>一昨年から、美幌峠のフォトコンテストを実施しているが、ジュニア部門での応募が3つしかなかった。</p>
林委員	親が連れて行かないと子どもはできない。学校では、4年生で美幌の学習があるので、そこに組み入れることはできるかもしれない。
小室主幹	昔は、総合学習の時間をいただいて、講師に観光係長が話をしにいったことがある。最近はそのような要請は来ない。
林委員	<p>総合学習の時間は、学校によって自由にカリキュラムが組めるので、そういう学習は好ましいと思う。</p> <p>美幌の武器は、信太委員がおっしゃっているように、車通りが必ずあること、空港に近いこと、近くに網走があるので何かあれば観光客がこちらに足が向くことだと思う。</p> <p>友人を連れてきたときに、美幌のどこに連れて行くかを考えたとき、まずは美幌峠、その他だと、個人的には古梅ダム、温水溜池があるが、そこから先がない。パンフレットを見ると、美幌の休日という考え方はいいが、弱いと思う。一日美幌でドライブはできない。隣町に行ってしまう。博物館も掲載されているが、これをもっとうまく活用すれば、体験型の観光ができると思う。そば打ちやパン作りとあるが、美幌は農業の町なので、農業体験ができるようになればいいと思う。</p> <p>ターゲットの話があつたが、美幌を売るのは夏なのか冬なのかで変わるし、どの層を狙うのかで作りが変わる。歌登では外国人をターゲットにして上手くいった。</p> <p>これがあるから行ってみたいという気にさせるのだったら、日本人ならグルメである。北海道はどの町にも魅力あるフードがある。ただ、その町一カ所は厳しいので、広域で考えていく必要がある。東藻琴、女満別、津別などと連携して、峠巡りをしてみませんかとか、芝桜の時期に組み合わせるとか、網走北見も巻き込んで、一体を回ってみましょうよというのでもいいと思う。美幌に泊まらないかもしれないが、できそうなところから取り組んでいって、同時に観光になりそうなものを見つけていくのもいいと思う。</p> <p>溜池でカヌーを使って、池の生物を観察するというのがあつたが、子ども向けにこのような体験をさせているのは他にないと思う。たとえばこれを使って、子ども向けのプログラムでツアーを組むとか、カブトムシが採れるだけで都会の子どもたちは喜ぶのでそれを組み入れてみるとか。町内の子ども向けに対しては、博物館でそうしたプログラムを行っていたはず。</p> <p>道外の人間から見たら、ここは魅力がたくさんある。自然が豊かなので、子どもに虫取り、大人は溪流釣りなどをツアーに入れ込む。後は食べ物。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室主幹	<p>高い金額でも、いいもの食べさせてもらえるホテルに泊まる。和牛祭りに多くの人があるのはその証拠だと思う。アスパラガスの時期にはもぎたてを食べるツアーがあればいいと思う。魅力はとともある。美幌峠からの眺めを見ただけで、都会の人は感動する。夕焼けの景色をフォトコンテストで広めてもらうとか。津別の雲海が最近有名だが、美幌ではそうした話はあるのか。</p> <p>美幌にも雲海は出る。</p> <p>先ほどの説明で、昨年2回ほど朝焼けの美幌峠のイベントを行ったが、タイミング良くきれいな雲海が出現した。ものすごい喜ばれた。しかし、雲海はいつ出るか分からないので、雲海を前面に押し出すことはできなかった。</p> <p>観光協会にご協力いただき、雲海のデータをとってもらった。7月が一番発生率が高いという結果が出た。</p>
信太委員	<p>過去3カ年のデータを分析し、美幌峠の雲海発生率は7月で30%であった。</p>
林委員	<p>そうした裏付けデータがあるなら、職員が確認に行きその確率を上げるなどしたらいいかもしれない。</p>
信太委員	<p>美幌峠にはライブカメラが取り付けられており、それを過去3年間の早朝を分析した。</p>
林委員	<p>それを美幌峠のレストハウスなどに大画面で映すことはできるのか。</p>
小室主幹	<p>インターネットに接続はしている。津別にはそうした設置はないので、人間が行くしかないことを考えると、これは武器になる。</p>
林委員	<p>夜はどうなのか。</p>
小室主幹	<p>夜はとてもきれいだが、美幌の町は少し遠く、ぼわ～と見える程度。ただ、星はとても見応えがあり、フォトコンテストでも多くのカメラマンが対象にしていた。</p>
林委員	<p>それなら、美幌の朝、昼、夜と一日にこれだけの景色が見られるという売り方ができる。</p>
信太委員	<p>雲海は10月にも多いというデータがある。</p> <p>トマムの雲海がすごいブレイクしているが、あれは夏季に使われていなかったゴンドラを最大限に活用した成功例である。なので、リリー山のゴンドラを動かすのも一つの手である。遊ばしているものをいかに活用するか、といった気付きが重要なのだが、地元の人にはなかなか気付かない。</p>
林委員	<p>自分たちが旅行に行ったときにどこを見るかといった視点を逆転させ、美幌では何があてはまるかを考えていかないと。</p>
信太委員	<p>足下にあるものに気付かない。</p> <p>気付きを色々な人と共有する事が大切だが、ポイントとなるのは人材で</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	ある。色々な業種の人がいるが、どうしたら美幌を売っていけるかといった視点を持つ人をどう育成していくか、人材は大きな課題である。
林委員	温水溜池は活用できないのか。
小室主幹	博物館から反対の声が出る。カヌーで入るなどしたいが、清里町にある神の子池で、そこに行くまでの道が大変荒らされた経緯がある。しかし通るだけなのでお金は落ちない。自然景観は美しいし有名になるのは結構だが、そこに行くことでどう経済効果を生み出すかを考えると、自然の使い方が難しい。
信太委員	PRしたいが、貴重な生物が荒らされるのは困る。
林委員	やはりグルメが欲しいところ。
小室主幹	公的なパンフレットで一つの店だけを掲載することはできない。そのため、観光物産協会の会員になってもらい、ホームページでPRしていく。
城委員	グルメも何をターゲットにするか難しい。万人に受け入れられる食べ物はない。お年寄りか若い人かを見定めないと、ぶれてしまう。
小室主幹	中山峠のあげいもは3個ついているが、売り場に様々なトッピングが用意されている。マヨネーズやソース、ジャムまである。これらは女性をターゲットにしたもの。
城委員	富良野にあるメロンソフトも、食べるのはほとんど女性。なので、食べ物はターゲットを絞らないと。漠然と特産品を作っても駄目。
林委員	マーケティングをしないまま作っても、結局売れない。道の駅も、それだとトイレだけで終わってしまう。ものができても、これでやっていけるというものがないと、続いていかない。
城委員	農家でも一歩踏み出したいような人もいるが、閉鎖的な社会でもあるので、なかなか上手くいかない。
信太委員	羅臼の漁業者で一歩踏み出して、観光に目を向けるようになって10年が経とうとしている。羅臼は十分漁業で儲かっているところで、最初は観光客に対して態度が悪かった。また鮭とか昆布とか一度味わっただけでリピーターがいなかった。しかし、平成17年に知床が世界遺産になって、全体的に盛り上がりを見せるようになった。
林委員	もう一度期待と思わせるのは必要。
信太委員	鹿追の農家は、修学旅行生を受け入れている。30年間続いているもので、子どもたちが芋掘り体験をし、それを即金で3千円の収入になることから、農家の人たちは子どもたちのふれあいと収入面のメリットにより、来年も継続しようということで続いってきた。
城委員	津別でもそのような受け入れを行っているが、やはり子どもたちに農業

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
信太委員	<p>の大切さを知ってもらって、日本の食料基地であることを訴え続けるという面もあって行っている。こうした取り組みは将来還ってくるものなので、今のうち種をまいておこうというもの。</p> <p>修学旅行は一旦来ると10年は続く。今あるものの中で、長続きできるものを探していく。</p>
阿閉委員	<p>枝打ち体験などはやったことはあるが、他のところではチェーンソーを実際に持たせて間伐体験させているところもある。危険な面もあるが、なかなかできないことをやってもらうというのは魅力かもしれない。</p>
林委員	<p>美幌町のカントリーサインはパラグライダーになっているが、あれはなぜか。</p>
小室主幹	<p>あれは昔スカイスポーツが盛んなで振興していた時代があった。今でもパラグライダーはやっているようだが、それほど普及していない。カントリーサインは開発局の管轄のため、スカイスポーツと一緒に振興したのが開発局だったことから、あのようなサインになった。</p>
城委員	<p>カントリーサインは目印になるので、あれを変えた方がいいのでは。</p>
事務局	<p>いろいろ意見をいただいているところだが、町民の方からいただいた意見の中に、イベントについて増やして欲しい・規模を大きくして欲しい・集客できるものがないのかという意見と、宿泊施設を増やして欲しいという意見が出ており、それについてご意見を伺いたい。</p>
城委員	<p>イベントも結局は寄付になる。企業が耐えられるのか。</p>
林委員	<p>イベントについても、今あるイベントを精選するか、対外的にするか、またパンフレットに載っていない商店街のお祭りを大きくするかで変わってくる。</p>
広島部長	<p>イベントは、参加する側の人間と、運営する側の人間の見方が異なる。パッと来て楽しんで帰るとするのがイベントなのだとしたら、それで終わってしまうが、それを運営する側から見ると、開催するまでの人の配置だとかお金の手配だとかを考えると、イベントを大きくしたりするのは大変である。</p> <p>今ある牛肉祭りにしても、実行委員会はあるが、実際は役場の人が多く入っていて、役場が手を引いたら成り立たなくなる。そういったところを頼りにしないと成り立たないので、もっと町民の方が自ら参加することになれば、イベントを増やすことも拡大することも可能だと思う。それが無い中で乗り切ろうとするなら、お金をかけるか、役場の職員が頑張るか。そういったことから考えると、今のイベントで精一杯かなと思う。</p>
信太委員	<p>今、各町のイベントでビッグタレントを呼ぶという風潮がある。これはいやな流れだなと感じているが、それを客寄せとして開催するが、祭り本来の意味が分からなくなる。しかしあちこちでそうしたテレビでしか見られない人を見るために人が来るようになり、美幌はしょぼいなと言われた</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
城委員	<p>ことがある。</p> <p>タレント呼ぶにはお金が掛かり、それは外に流れてしまう。その部分を、町民の意識改革によって、自分たちも楽しんで開催していこうよという空気作りが大切である。それでないと長続きするイベントはできない。</p> <p>昔は川下りがあった。</p>
信太委員	<p>あれも最初は参加型で開催ができていたのだが、そのうち作るのが大変だということで下火になった。</p>
城委員	<p>今の人は忙しいので、作っている暇がない。時代背景もあると思う。バブル崩壊以降、人も時間もなくなっている。</p>
広島部長	<p>イベントは、身の丈にあったものでないといけない。美幌町でどれだけイベントを開ける活力があるのかということを考えると、牛肉祭りで手一杯だと思っている。今より規模を広げようとするならば、町民の人が自ら参加するようになってもらうか、寄付するかということになってもらわないと、人と金の問題は解決しないので、そういう風潮になって、人手はこれ以上いらぬよというぐらいにまでなれば、色々なイベントは打ち出せると思う。</p> <p>イベントがまちづくりだという意識がない。町民の人たちは、イベント＝行って楽しむものという意識なので、自分たちが手を出すという考えがない。</p>
佐藤部会長	<p>では次に宿泊について、グリーンビレッジに冬は人が入っているのか。</p>
広島部長	<p>冬場はグリーンビレッジだけでなく町内全体が苦戦している。</p>
城委員	<p>宿泊施設もターゲットが重要。ビジネスマンかカップルかで作りが変わる。</p>
広島部長	<p>ビジネスマンは北見か網走に宿泊する。</p> <p>また、宿泊施設というのは、私は後からついてくるものだと思っている。いま、美幌町に宿泊施設のニーズがあるかを考えたら、それはない。飛行機を考えても、パック商品は網走か北見となっていて、そこに美幌のパック商品を入れても、何の目的で美幌に泊まるのかということになる。</p> <p>美幌に足止めをさせるものがないと、ホテルはついてこない。</p>
城委員	<p>新しいものを作るより、既存にあるグランドホテルを改築した方がいいのでは。有料テレビが見られない、冷蔵庫がないなど、設備が整っていない。</p>
信太委員	<p>美幌の宿泊施設について問い合わせが一番聞かれるのが、分煙である。町内には8施設あるが、どこも分煙されていない。それを知らないで泊まった客に、もう来ないといわれたことがある。時代的に禁煙者が増えている中で、それに配慮した北見に流れているというのものもある。美幌では労働者といった長期出張者が多いので、朝4、5時に出て行く人のために朝食を用意できるのが強み。そういったところに、観光客を呼ぶのはリスクがある。テレビやインターネット環境が必要となってくるので莫大な投資が</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
林委員	<p>出てくる。それをやってくださいとは言えない。 営んでいる人も高齢になっているので、後継のことを考えていない。それもやはり宿泊施設は減って行ってしまった。</p> <p>それはターゲットをその長期出張者としているので、仕方がない部分である。</p>
広島部長	<p>美幌にどんどん人が来て、なぜ宿泊施設がないのかと聞かれるぐらいにならないと、施設はできないと思う。そのため、そういう流れになるようなものを作っていくかといけない。</p>
林委員	<p>今できることは何か、日常的にやれることをやる。美幌峠に何か一つつけて、それをやったらまた一つやっていく。 急激なことは無理なので、あとは特産物があればなど感じる。</p>
広島部長	<p>今は建物一つでも観光になる。それには何かしかりとしたものが必要。一つでもあればできる。それがあれば観光ルートに入ってくる。</p>
城委員	<p>それが何なのかにかかってくる。特産物でいくのかグルメでいくのか。それとも美幌峠に次ぐ観光地か。</p>
林委員	<p>それは美幌にあったものを探していくかといけない。今あるものの中から、人の興味を惹きそうなものをいかに先鋭化していくか。</p>
広島部長	<p>それを決めたら投資して、勝負していくしかない。</p>
城委員	<p>観光＝景色ではなくなっている。名物町長が案内してくれるとかでも成り立つ。</p>
広島部長	<p>今は観光の間に美幌峠があるから寄っていきこうというものになっている。その峠に行く間に何を売っていくか。</p>
城委員	<p>アスパラを売ることはいいが、行政がどこまで金を出してくれるかにもかかってくる。アスパラだけ売るとなると、他から苦情が出る。町民をどう押さえ理解してもらい、行政がどう英断をするかにかかっている。夕張は市が全体を上げてメロンを売りに出した。市民はそれを認めているからできていることだ。美幌はそれができるのか。</p>
佐藤部会長	<p>本日も様々な意見が出された。今日はこれで終了とする。</p> <p style="text-align: right;">了</p> <p>【欠席された太田委員のメールによる意見】 宿泊できる施設（エコハウス、旧報徳小学校など）の観光客への周知 ユースホステルの再利用 宿泊施設（ホテル）の充実 現在、宿泊施設が弱い美幌だけに、ホテルではないですが、団体や研修などの宿泊は、エコハウスや旧報徳小学校などでも出来ることを周知することで少しでも補えることができる。</p>